

京

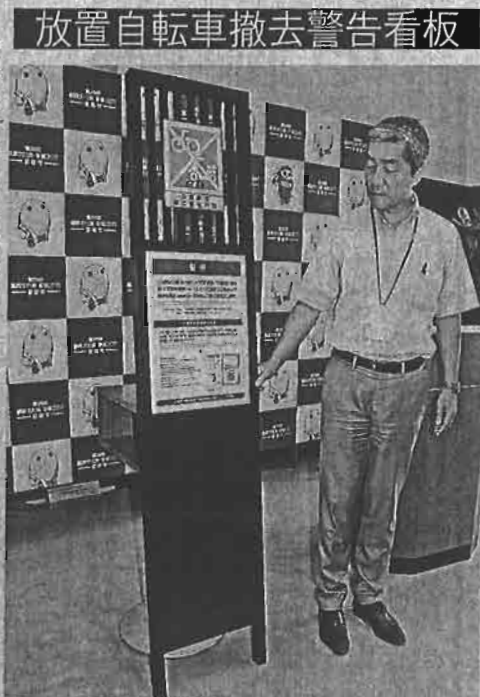
正妻納を締結したと発表された。基本設計の策定で、日
本を代表するモダンイズム建築を継承していくための専門
家委員会も近く発足させる。

老朽化に伴う京都会館の再整備で市は6月、舞台機能や音響設備の向上のため第1ホールを解体し、建て替える計画を策定した。これを受け、市は2月に命名権売却で合意したロームと契約内容に

化を目指す第2ホール、会議棟の各施設について愛称を付けられる。ロームの命名権取得費は市が工事請負業者

町家格子風に一新

京都市 学生アイデア基に



京町家の格子窓をイメージした放置自転車の撤去警告看板(京都市中京区・市役所)

京都市は、市内の主要駅周辺に設置している放置自転車の撤去警告看板を一新し、15日から順次設置する。高校生と大学生から募ったアイデアを基に、町家の格子窓をイメージしたデザインを採用した。

撤去を通告し、撤去後の返還場所を地図で記している。現在は白いプラスチック製の立て看板2千枚を市内一円に設置している。

ただ、看板は落書きやへこみが目立つことから、市民の視点でまちづくりを議論している「市未来まちづくり100人委員会」が京都の景観に合った看板のアイデアを募集。市内の芸術系大学や高校から寄せられた8作品から、市が格子窓のデザインを採用した。

新看板は高さ177センチ、幅40センチで、1088枚作った。全体を茶色に統一し、上部に格子を設けた。同じデザインの固定式看板24枚と、路面に張り付ける警告シート220枚も作製。総事業費は約4470万円。

(西川邦臣)